

常任委員会からの活動報告

9月定例会の常任委員会で審査した議案や所管事務調査などの中から、概要をお知らせします。

地域の防災体制は どのような状況か

総務経済委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定

協働事業の成果と課題は。

【A】開始から2年間は市民提案型事業の実施のみだが、26年度は行政提案型事業も3件実施した。行政と市民が協力できたため、事業は着実に進んだと考える。

◆地域防災計画【所管事務調査】

【Q】自治会と協定を結んだ要援護者対策は、どのように進めているのか。

【A】協定を結んだ自治会には、要援護者の個別支援計画を作成していただく必要があるため、地域の皆さんに協力を呼びかけながら、支援体制の確立を目指す。

【Q】既存の備蓄倉庫へソーラーパネルを設置するなどの改修は。

【A】小型備蓄倉庫は昨年度に6か所設置した。今後も年度計画を作りながら補助金を利用し、既存の防災倉庫を更新していく予定。



小型備蓄倉庫



大型備蓄倉庫

産後のサポート事業を 考える

文教厚生委員会

◆請願「狭山市における『産後ケア事業』の実施に関する件」

【Q】「助産師・保健師による新生児訪問事業の充実」の具体的内容は。

【A】法に基づき新生児の発育、生活環境の確認、疾病予防を目的に生後28日以内に訪問する事業で、利用率が低いため、周知を充実する必要がある。

【Q】新生児訪問事業の利用率が低い要因はなにか。

【A】訪問希望の有無を記入する出生連絡票の回収率が低いことと、未提出者へのフォローが足りないこと。

【Q】市内の助産師の人数と助産院の数は。

【A】助産師は多いとの認識はあるが、実数は不明。助産院は1件、いわゆるお産婆さんは2人いる。

※答弁は紹介議員による

【意見】☆本請願は、産後ケア事業充実への第一歩であり、今後、さまざまな事業の展開を希望する。☆財源確保の課題もあるが、切実な要望であり、実現に向け取り組みが必要がある。



稲荷山環境センターの更新 を見据え財源の確保を

建設環境委員会

◆一般会計補正予算

【Q】智光山公園事業の認可変更業務委託の内容は。

【A】智光山公園の事業認可は、来年3月までだが、今回の釣場を含め公園内の整備計画や事業費の変更に伴い、申請に必要な図面や書類を作成するための費用。



園内の釣場を視察

◆一般会計歳入歳出決算認定

特定外来生物の被害状況は。

【A】26年度の野生生物の相談件数は、116件あり、このうちアライグマの相談は50件受けた。

【Q】特定外来生物以外の被害状況は。

【A】ハクビシンが31件、ほかにタヌキなどの相談を受けている。

【Q】稲荷山環境センターは、現在、長寿命化計画を実施しているが、更新の見解は。

【A】新たな焼却施設の更新は、現在策定中の第4次総合計画前期基本計画で示すこととし、実施計画を策定する中で、財源の確保に向けた庁内の合意を考えている。

の保険料率の改定が行われ、均等割額は580円増の4万2千440円、所得割率は0.04%増の8.29%へ、また賦課限度額が55万円から57万円に引き上げられた。なお、改定に合わせ、低所得世帯に対する保険料軽減措置対象の拡大が図られ、軽減該当者数は2割軽減が98人増の1千122人、5割軽減が649人増の955人となった。

◆水道事業会計

《賛成多数(19名)で認定》

【Q】稲荷山配水場更新事業の進捗状況は。

【A】25年度に既設の配水池を解体し、26年度から27年度までの2カ年で新たな配水池、ポンプ棟、電気機械設備の工事を進めている。8月末で約55%の進捗状況。

—その他の決算認定—

《いずれも原案認定》

◆特別会計狭山市駅東口土地区画整理事業、介護保険

◆事業会計下水道

一般会計決算

要望指摘事項

総務経済委員会

- 市内交通対策については、まちづくりと一体になった形で見直し、現在の方式にとらわれることなく、より利用者が使いやすいものとなるよう検討されたい。
- 洪水の危険性がある水路等については、関係する管理者等と協議のうえ、早期に改修されるよう努められたい。
- 指定管理者制度の運用にあたっては、法令の遵守徹底とともに、適切な管理運営が行われるよう、指導・監督を実施されたい。なお、商工振興事業の指定管理については、多くの事業者が参加できるよう検討されたい。



要望は議長が直接市長に

文教厚生委員会

- 教職員の負担軽減及び、年次有給休暇を取得しやすい環境にするために、派遣非常勤講師を増員されたい。
- 公立幼稚園2園において、市立幼稚園の統廃合に関する計画に鑑み、職員の増員を含め、更なる特別支援教育の充実を図られたい。

建設環境委員会

- 稲荷山環境センターの更新を見据え、基金等、財源の確保を検討されたい。
- 特定外来生物以外のハクビシン等有害鳥獣の対策を検討されたい。
- 雨水貯留浸透施設設置補助事業の更なる拡充を図られたい。

討論 議案に賛成・反対します

◆平成26年度 一般会計歳入歳出決算認定



賛成討論(要旨)

各指標から見た財政状況は、引き続き健全性と安定性が保たれ、順調な市政運営が推進できた。しかし、税収は今後さらなる厳しさが予想され、市税収納率向上への取り組みと、市税以外の財源の的確な捕捉に努めてほしい。
▶重点施策である「協働」では、地域が主体的に「地区まちづくり推進事業」に取り組み、多くの協働事業が実施され、まちづくりが目に見える形で実践された ▶臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の支給は、プロジェクトチームを設置し適切に対応した ▶昨年2月の大雪被害農家に、ハウスなどの再建支援のため、いち早く関係機関と調整し、迅速かつ的確な対応を行ったことを高く評価する

反対討論(要旨)

市民所得が落ち込む中、消費税が8%へ上げられ市民生活は厳しさを増している。国や県の制度改定による施策は必要な補助金を要請するとともに、基金などを積極的に活用して次のような市民生活応援の施策を求める。
▶常勤対応の臨時職員は正規職員への登用を ▶中央公民館の利用者は駐車料金の無料化を ▶保育所のさらなる定員増に向けて方針の転換を ▶消防基準を充足させ災害時への十分な対応を ▶住宅リフォーム補助金の増額とより多くの業者が受注できる体制を ▶教員の多忙化解消のために教育センター代替教員の増員を ▶情緒障害通級指導教室を各地区の学校に